

SSKO

NPO法人 共に歩む市民の会



会 報

2023年3月15日 発行

共に歩む市民の会広報委員会

横浜市旭区鶴ヶ峰 2-2-4

☎045-453-8386

<http://tomoni-people.net/>

【これからの支援に求められること ～障害者権利条約と施策の方向】

理事 田中 梨奈

日ごとに春めいてきました。ほっとぽっと前の公園の桜も色づき開花を待ち焦がれているようです。施設移転を秋に控え、窓からお花見ができる今の景色はなんて贅沢なんだろうと感慨深いです。

当法人の歴史を振り返ってみると1997年に当事者・家族・関係者が集まり設立した時から「心の病を持つ人が当たり前前に生きていけるために」（共に歩む市民の会パンフレットより）活動してきました。生活支援センターA・B型の標準化から2年半経ち、相談支援機能やアウトリーチ、関係機関との連携強化という目的は成果が少しずつ見えて来ましたが、まだまだどこにも繋がっていない方、困りごとを抱えて苦しんでいる方も沢山いらっしゃいます。

さらに、今後生活支援センターだけでなく、障害者施策に大きな影響を与えることとして、障害者権利条約に基づいた国連・障害者権利委員会による審査・勧告があり、それに伴う国内法の整備が進められていると報道されています。

障害者権利条約は障害のある人の人権・自由を守る国連の国際ルールで、日本も2014年に批准しました。昨年夏に初めて国連障害者権利委員会の審査があり日本の現状についてかなり厳しい勧告が出されました。一方、暮れには国内の法整備として、障害者総合支援法の改正などがまとめて可決され、2023年の準備を経て2024年度から施行されることとなります。

国連勧告では、障害の定義を医学モデルから社会モデルへ変更することを徹底し、障害者への差別禁止、虐待防止、居住、教育、雇用、所得保障など生活の各方面での平等の実現と配慮を求めています。特に、精神科医療について、強制入院、長期収容の改善が求められています。最近もまた、滝山病院（八王子市）で患者への虐待で職員が逮捕されるという事件が起きていて怒りを禁じえません。実態や背景について関心を持ち、自分事として深く考えて行く必要があると思います。

国内法も、インクルーシブ教育や居住支援、施設や病院からの地域移行を推進し地域生活の定着を図ることを謳っています。グループホームからも本人の希望する地域移行を進める方策が検討され、就労支援も充実すると聞いています。

精神障害者が希望する地域で安心して暮らせるために、法改正や制度だけでなく、多くの人たちの理解や活動が必要です。ほっとぽっとも、その一助となるよう役割を果たして行く所存です。移転もそのステップとして活かせるよう、会員の皆様のご意見をお寄せ下さる様お願い致します。



『横浜寿町～地域活動の社会史～』の刊行に寄せて

～懸命に生きた人たちの街のこと～

理事長 村岡 福藏



中区寿町…JR 関内駅南口から港とは反対方向にその街はあります。寿町を中心とする 250 m ほどのエリアに、現在は約 120 軒の簡易宿泊所（通称「ドヤ」）が建ち並び、かつては東京・山谷、大阪・釜ヶ崎（愛隣）とともに「日本三大寄せ場」として、最盛期は約立ち 1 万人の日雇労働者の人たちが仕事を求めて集まり、

喧騒と活気に満ちた街でした。敗戦後の復興や朝鮮戦争特需を支えた横浜港に近く、また高度経済成長期から平成のバブル崩壊までは主に土木・建築工事の労働力として、文字通り日本の経済成長を陰で支えてきました。

反面、住民のほとんどが単身男性で、待っている家族もなく、3 畳足らずの部屋で暮らすという街のありようは独特の雰囲気を生みます。不安定雇用、労働災害、孤独、アルコール、疾病、障害、路上死一様なことがむき出しのまま立ち現れる場所でもあり、それが周辺の地域からの偏見を生み、社会的な差別構造の中に組み込まれていきました。

そうした中で、彼らの生存権と尊厳を支援し、共に生きようという活動も種々行われてきました。このほど、加藤彰彦さん（筆名・野本三吉、元横浜市寿生活館職員）、大友勝さん（横浜市精神障害者地域生活支援連合会代表、元寿地区住民懇談会代表）、村田由夫さん（寿地区自治会長、元寿アルク理事長）など、寿町に深く関わってきた人たちの手で『横浜寿町～地域活動の社会史～』として、活動の歴史が上下巻の本になり出版されました（社会評論社刊）。

私は、横浜野宿者殺傷事件（1983 年）当時、横浜市民生局寿地区対策担当職員として、その渦中にいたことなどから、大友さんの計らいで執筆陣の一角に加えていただきました。寿のことを内側から伝えるこの本を通して、寿町で懸命に生きた人たちの姿、彼らと向き合う様々な活動があったことを知っていただければと思います。かつての「寄せ場」は姿を消しましたが、新自由主義的な雇用政策により正規雇用と非正規雇用・派遣労働の境は流動化し、生きにくさはかつてより増しているのではないのでしょうか。本書が寿町の歴史に新たな光を当て、改めて社会や労働のあり方を考える一助になれば幸いです。

【ほっとぽっと移転について】

長年にわたっての懸案事項であった移転ですがようやく動き出しました。昨年末、建設予定地で地鎮祭が執り行われ、市民の会からも理事長他 3 名、旭区役所から高齢障害支援課から 2 名参列しました。借り受けの形状としては施主様が建ててくださった建物を借りることになります。完成は秋ごろの予定です。それに伴いほっとぽっとでも様々な変化があると思います。楽しみではありますが、今後の事を考えると身の引き締まる思いです。



【絶賛配信中】

・第24回旭区精神保健福祉セミナー

3月31日までの配信です。まだ未視聴の方、ぜひご覧ください。

今年の表題は「チャレンジドあさひ 私のパワースポット」です。「チャレンジド」とは障害のある方たちを表す新しい概念の米語です。チャレンジする機会を与えられた（神様から）という意味で、障害があることはマイナスではないよ、障害による体験をポジティブに生かしていこうという事から使われ始めました。

今年は4つの動画で、彼ら自身のパワースポット（事業所）から普段の取組や思いを伝えてもらっています。ほっとぽっとからも出演しています。久しぶりにマスクをしていない職員の顔も見てやってください。

視聴方法は共に歩む市民の会ホームページをご覧ください。横浜市公式YouTubeチャンネルからも視聴できますが、市民の会ホームページから入る方法が一番スムーズに入れます。

<http://tomonipeople.net>

・きらっとあさひ福祉大会

4月28日までの配信

鶴ヶ峰地区が「垣根のないまち～障がい者地域作業所との協働を通して～」という実践報告をしています。ほっとぽっとのある鶴ヶ峰、障がい者とどう協働しているかが語られています。

視聴方法は旭区社会福祉協議会へお問い合わせください。

【ほっとぽっと第16回運営連絡会報告】

◇日時 2022年12月7日 午後2時～

◇場所 ぱれっと旭 多目的ルーム

コロナ禍にあって、対面で実施できなかった運営連絡会、3年ぶりに行うことができました。

今回は移転の話もあり、運営委員の皆様からも活発なご意見をいただきました。

【第88回理事会報告】

◇日時 2023（令和5）年2月23日（木） 午後6時30分～

◇場所 旭区生活支援センターほっとぽっと 別館サロン

報告事項

- (1) 令和4年度決算見込みについて
- (2) 法人収支見直し
- (3) 旭区生活支援センターほっとぽっと移転について
- (4) 虐待防止・身体拘束等適正化委員会の開催結果について

審議事項

- (1) 第19回通常総会の開催について
- (2) 令和5年度「ほっとぽっと」事業計画・予算（案）について
- (3) 非常勤職員・アルバイト職員給与規定の改正について
- (4) 役員改選について



【寄付のお願い】

生活支援センター移転という一大事業を前に皆様に伏して寄付のお願いをさせていただきます。多額な移転費用は横浜市からの補助金だけでは到底賄える金額ではなく、現在、職員がどうやって費用を節約しようかと頭を悩ませています。新しいところに移るからと備品を新しくするのではなく、使えるものは使い、必要最低限の備品購入をと考えていますが、それにも限界があります。利用者も職員も新しい環境で、少しでもスムーズにスタートを切れますように皆様のご協力をお願いいたします。

振込先：横浜銀行 鶴ヶ峰支店 普通 1705269 特定非営利活動法人共に歩む市民の会
代表者 村岡福藏
郵便振替口座 00280-6-132476 特定非営利活動法人共に歩む市民の会

市民の会・ほっとぽっと・メゾンほっと

- ☆第19回通常総会 6月3日（土） 午後1時30分～ ぱれっと旭多目的ルーム
- ☆語らい電話終了のお知らせ 長らく続けてきた活動ですが5月末で終了します。これまでかかわってくださったボランティアの皆様、本当にありがとうございました。
- ☆職員移動 源川俊介 ほっとぽっと職員 → メゾンほっと管理者
- ☆職員退職 高橋昌視 3/20付
- ☆ほっとぽっとからのお知らせ

- ・コロナ感染拡大防止対策変更をします。ご理解ご協力をお願いします。3/13より、飛沫拡散防止用アクリル板を食事スペースを除き撤去します。施設の特性により、マスク着用、黙食、入館時の検温と手指消毒は継続します。4月より、ランチ、プログラムの参加人数制限を少しずつ緩和します。詳しくは、ほっとぽっとニュースや掲示をご覧ください。

☆メゾンほっとから

- ・引き続き入居者募集中
- ☆旭びあくらぶ
- ・つどい 3月21日(火) 4月18日(火) 午後2時～ テーマトークを行います。
- ・お花見散歩 4月4日(火) 午後2時～ 帷子川沿い、桜を見ながらお散歩しましょう。

※常日頃からの法人へのご協力を感謝いたします。

10月～3月までに寄付をいただいた方（敬称略）

金品寄付：今野利絵 紺野義彦 阿部祐介 野川久和 野川利枝 中和田恵子
前野幸子 丹羽真里 富永久雄



編集後記：WBCで大谷翔平選手の一挙手一投足に話題が集まっていますが、ほっとぽっとそばの鶴ヶ峰稲荷神社は別名大谷翔平神社と言われています。お母さんのご実家が鶴ヶ峰にあり、大谷はいつも参拝なさっていたそうです。いまやパワースポットともいわれている神社、一度いらっしゃいませんか？ 國井